

## どうする タブレット・PC 「GIGA スクール構想」と私たちの実践

### 1. 一足早く小中学生全員にタブレットが配布され、使用している三鷹市の学校

- ・研修や校内環境が整わない中でのスタート（他市の教訓になることがたくさんあります）
- ・授業や授業外での活用の中での利点と数多くの問題点の報告（先生方からのアンケートをもとに）
- ・校内 Wi-Fi 環境・保護者の私費負担・市の予算など（市議会・市民と関わる問題）

### 2. 視野を広く、21 世紀の世界に目を向けて

★各国の教育課程・教科書発行と検定・デジタル教科書の実態をつなげて比較してみたら・・・

（公益財団法人：教科書研究センターの 42 개국調査に注目！）

「欧米諸国では、教育課程を政府が大綱的基準として定めています。そして、教科書は自由に発行され、政府が検定制度で統制するような国は見られません。当日配布の資料の範囲では、例外は日本と中国だけです。教育活動は、学校と教員の自主性・専門性が尊重され、その中で効果的な機器としてタブレットを活用したデジタル教科書の使用が、欧米諸国のすう勢になっています。」

### 3. タブレット・PC を使った「GIGA スクール構想」・・・早わかり

- ・内閣府・経済産業省・GAFA も参加する経済界の「GIGA スクール構想推進委員会」・そして文科省の描く「未来の学校」と「GIGA スクール構想」を読み解く（すべての子どもの持っている可能性を伸ばすという憲法の保障する普通教育の視点で）

### 4. 「先進例」と紹介される実践をご一緒に見てみましょう。

- ・文科省 HP に 1 月 7 日にどっと掲載された実践例を全部読みました。国語と理科を中心に話します。HP の実践例は玉石混合？学習指導要領の問題点が反映しているものがありました。一方、機器としての有効性を示す事例もあります。
- ・国立附属の動向・自主的な研究・実践の紹介
- ・タブレットありきではなく、子どもがよくわかる授業のためにどう活用していくか、直接体験・学び合う授業など今まで大切にしてきた実践にどう取り込むのかの視点で
- ・来年度の教研活動の中でどう対応したらいいか（当日の交流も）

### 5. 教職員・保護者・市民の学び合う場を創造的に創りましょう（デジタル社会の特性を生かして）

- ・「タブレット、子ども喜び・先生困惑・保護者は期待」とも言われていますが、実態・可能性・問題点などを学校現場からまず創意工夫して発信する工夫
- ・その中で話し合い、身近な行政・教育行政に声を届け、子どものための教育をよくする取り組みとつなげましょう。コロナ禍の中、市民の自主的な動きがたくさん出ています。そうしたところと手を携えて（当日、スマホを使って実践を紹介します）